

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
日置市	吉利地区(北区、中区、南区、柿の谷)	令和4年1月28日	令和1年7月25日

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	163.4ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	108.0ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	75.3ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	34.9ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	25.6ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	79.7ha
(備考)	

注1:③の「〇才以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。

注2:④の面積は、下記の「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。

注3:アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。

注4:プランには、話し合いに活用した地図を添付してください。

## 2 対象地区の課題

担い手が減少する中、担い手の確保、担い手の農地の集約が急務。  
 基盤整備が進み、畑かん導入計画があり、条件整備が進んでいるが、甘藷、飼料作物中心の農業であり、畑かん導入後の営農類型を検討し、推進する必要がある。  
 当該地区で経営する認定農業者は、別記のとおり19名であるが、畑地帯総合整備事業の畑地帯集積促進整備計画に基づき、地域の合意の下で作成し、実質化された人・農地プランの「同種取決め」とみなされたい。

注:「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

担い手の高齢化が進む中、農地集積を推進するシステムづくりを行うため、吉利の耕作者で組織された「吉利アグリ未来会議」により、地域内の土地の情報を集約し、効率的に土地利用を進めるために、話し合いによる農地の流動化に取り組む。

農地中間管理事業を積極的に活用し、スムーズな農地流動化を進める。

注1:中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注2:「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農		水稻・甘藷	5.8 ha	水稻・甘藷	8.0 ha	
認農		水稻・甘藷	7.7 ha	水稻・甘藷	8.0 ha	
認農		水稻・甘藷	3.4 ha	水稻・甘藷	5.0 ha	
認農		有機露地野菜	0.4 ha	有機露地野菜	3.0 ha	
認農		白ネギ・ソリダゴ	0.5 ha	白ネギ・ソリダゴ	0.5 ha	
認農		水稻・甘藷	1.3 ha	水稻・甘藷	13.0 ha	
認農		複合	4.0 ha	複合	6.0 ha	
認農		複合	0.3 ha	複合	3.0 ha	
認農		水稻・甘藷	0.0 ha	水稻・甘藷	0.8 ha	
認農		繁殖牛・水稻	1.0 ha	繁殖牛・水稻	2.5 ha	
認農		肥育牛	2.4 ha	肥育牛	5.0 ha	
認農		酪農	11.5 ha	酪農	15.0 ha	
認農		生産牛・水稻	3.0 ha	生産牛・水稻	15.0 ha	
認農		肥育牛	ha	肥育牛	ha	
認農		大豆・そば・麦	4.5 ha	大豆・そば・麦	10.0 ha	
認就		ソリダゴ	0.0 ha	ソリダゴ	0.5 ha	
認就		露地野菜	0.1 ha	露地野菜	2.0 ha	
認農		複合	0.3 ha	複合	0.5 ha	
認農		果樹	0.0 ha	果樹	0.3 ha	
		複合	0.0 ha	複合	7.0 ha	
		水稻・甘藷	0.5 ha	水稻・甘藷	1.5 ha	
		水稻・甘藷	1.3 ha	水稻・甘藷	5.0 ha	
		水稻・甘藷	1.5 ha	水稻・甘藷	2.0 ha	
		水稻・甘藷	2.4 ha	水稻・甘藷	3.5 ha	
		水稻・甘藷	0.4 ha	水稻・甘藷	2.0 ha	
		水稻・甘藷	2.5 ha	水稻・甘藷	3.0 ha	
		水稻・甘藷	0.6 ha	水稻・甘藷	1.0 ha	
		複合	1.6 ha	複合	2.0 ha	
		肥育・水稻	0.0 ha	肥育・水稻	2.1 ha	
		肥育牛	1.0 ha	肥育牛	1.0 ha	
		水稻・甘藷	1.0 ha	水稻・甘藷	1.2 ha	
		甘藷	1.0 ha	甘藷	1.3 ha	
		露地野菜	0.0 ha	露地野菜	0.4 ha	
		水稻・甘藷	0.7 ha	水稻・甘藷	1.0 ha	
		肥育・水稻	0.3 ha	肥育・水稻	0.5 ha	
		複合	4.4 ha	複合	4.4 ha	
		露地野菜	0.1 ha	露地野菜	0.2 ha	
		露地野菜	0.9 ha	露地野菜	1.0 ha	
		水稻・甘藷	3.0 ha	水稻・甘藷	3.1 ha	
		複合	0.3 ha	複合	0.4 ha	
		水稻・甘藷	0.2 ha	水稻・甘藷	0.7 ha	
		水稻・甘藷	0.4 ha	水稻・甘藷	0.5 ha	
		水稻・甘藷	1.7 ha	水稻・甘藷	1.7 ha	
		水稻・甘藷	1.0 ha	水稻・甘藷	1.5 ha	
		肥育・水稻	2.1 ha	肥育・水稻	2.1 ha	
		甘藷	1.2 ha	甘藷	1.2 ha	
		水稻	0.4 ha	水稻	2.0 ha	
		水稻	0.7 ha	水稻	4.0 ha	
		水稻	0.4 ha	水稻	2.0 ha	
計	49人		77.7 ha		157.4 ha	

注1:「属性」欄には、個人の認定農業者は「認農」、法人の認定農業者は「認農法」、認定新規就農者は「認就」、法人化や農地集積を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」と記載します。

注2:「今後の農地の引受けの意向」欄については、現状からおおむね5年から10年後の意向を記載します。

注3:「経営面積」欄には、プランの対象地区内における中心経営体の経営面積を記載します。